

◎ 山上の桃源境から北へ

ユガテ—おたかとりやま大高取山—おごせ越生

甲野 啓一

たつてこの土地を守り、美しい景観を維持してきた両家に敬意を表したい。  
農家の庭先を抜けて裏の小尾根を登り、林道を横切ると鎌北湖分岐のエビガ坂。左の尾根道をたどり、再び林道を少し歩いて、十二曲で右へ山道を登

花に囲まれた山上の小集落ユガテは、手軽に訪れることのできるミニ桃源境として人気を集めている。ユガテをめぐるハイキングは、西の顔振峠かみぶりとうげあるいは東の物見山と結ぶコースがよく紹介されているが、北上して大高取山へ縦走するのも面白い。

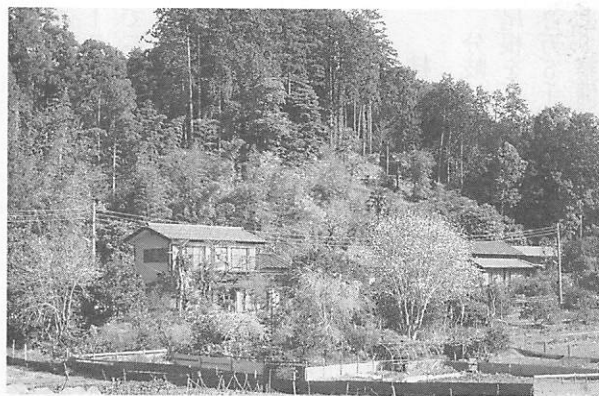
この縦走路は従来、S社の登山地図で赤点線扱いされるなど、家族向きでないとの印象を与えるガイド記事が多かった。だが、近年は地元の尽力により歩きやすく整備され、道標も完備して快適なハイキングコースになっている。時期としては、ユガテの花が咲きそろう春が最適だろう。また、奥武蔵

としてはロングコースなので、その点でも日の長い春がよい。

ユガテへ

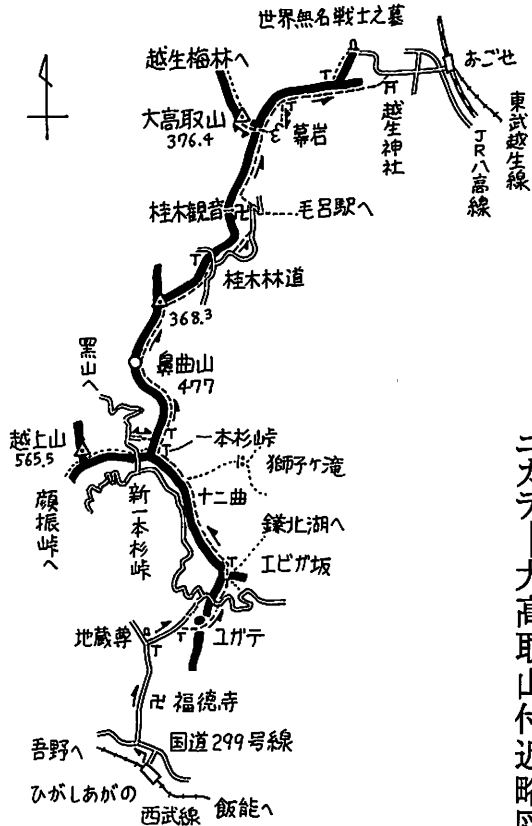
東吾野駅から国道299号に出て、左に行きすぐ右折、福德寺を過ぎて地藏尊の前で右に入る。エビガ坂へ直行する林道と分かれて、右へ山腹に取り付く。樹林帯をゆるく登りつめて狭い車道に出合い、左に行けばパッと明るいユガテの小平地に出る。

南に面した2軒だけの農家の畑と周辺には、紅梅、白梅、レンギョウ、菜の花などが咲き乱れ、山上の別天地、まさにミニ桃源境だ。約300年にわ



花咲くユガテ

## ユガテ—大高取山付近略図



と越上山・顔振峠分岐。ここは右へ行く。

最初は薄い踏跡だが、すぐ「武蔵おごせハイキングコース」の新しい道標があり、明瞭な道が右の尾根へ下っていくので、これをたどる。この先は、大高取山まで道標が完備している。

分岐に立つ大きな杉の根元に「一本

杉峠」の古びた木板が打ち付けられている。現在は西の方にある車道三差路の切通しが新一本杉峠と呼ばれているようだ。ところが、前面の林の中から、ニワトリや犬の鳴き声がけたたましく聞えるのが気になり、のぞいて見た。正面の広く平らな尾根を直進すると数分で杉林とヤブを抜け、林道終点の

平地に出る。飯場の周辺にトラックやブルドーザーが放置され、古い水道ホースがトグロを巻き、鶏小屋や檻の中でニワトリと犬が鳴きわめく。何とも騒々しく、乱雑な場所だ。

ただし、周囲は木がなくカラリと開けて、越上山から刈場坂峠を経て堂平山に連なる山々の眺めがよく、越生方面も見渡せる。本日のコースで随一的好展望台である。

### 桂木観音へ

分岐に戻って、境界石の埋められた尾根を下る。ここから桂木林道までは、2万5千図に記載されていない道だが、よく整備され歩きやすい。楽な下りが終ると、小さな岩場を乗り越す。

岩場から一登りすると狭いピークの鼻曲山で、梢越しに展望が開ける。やや急な坂を下り、広い尾根をゆるく下すると道端に368・3の四等三角点があるが、その印字が面白い。

ふつう、三角点や境界石などの文字は達筆だが、この標石はなぜか金釘流

で刻まれている。悪筆者を安心させてくれる、癒しの三角点とでも言うべきか。このあたりからは、行く手の木の間に越しに大高取山が、意外に大きな根張りを見せてそびえている。

少し下って桂木林道を横切る。ここからは「もろやま ゆずの道Aコース」の道標が林立して少々うるさいが、地元の熱意が感じられる。柚子はこの地域の名産で、しきりに宣伝している。

再び車道に出ると桂木集落で、「天然記念物大タブの木」の案内板が立つ。右へ行けば毛呂駅へ直行する。正面の車道を少し歩いて左へ石段を登ると桂木観音に着く。養老3年(719)行基作の由緒ある観音様で、地元の尊崇が厚いとのことだが、社殿の規模はそれほど大きくない。

## 大高取山

桂木観音の右手、落葉のたまった古いトイレの横から広い尾根を登る。ユガテからここまでほとんど人に会わず、休日でも静寂そのものの山行だったが、

このあたりからは人声が聞こえて、20人ほどと出会う。

ゆるく登って大高取山の肩に着き、左へ少し行けば、三等三角点のある広々とした平らな山頂に出る。以前は武蔵野のよい展望台だったそうだが、今は木が茂り、しんと静まり返っている。北へ越生梅林に下れば、起点のユガテと対応する花の旅の締めくくりとなるだろうが、花見客の酔態を敬遠して越生へ直行することにした。先ほどの肩まで戻り、東北の尾根を下る。相変わらず楽な道が続く。

10分ばかり下ると幕岩展望台入口の道標があり、戻り気味に山腹を巻いて下ると岩壁の上に作られた木造の展望台に出て、入間川方面の平野がよく見える。

幕岩を下から見ると、展望台右側の階段を下ればよい。高さ7m、幅20mほどの岩壁で、一部はブッシュに覆われている。分岐から往復20分くらいである。

分岐に戻り、夕暮れ近い樹林の中を

下って、立派な越生神社の横に出る。近辺には神社の他に法恩寺など寺院も多いので、立ち寄ってみるのもいいだろう。春先の散策にちょうどよい1日コースだった。

なお、下る途中で左へ行けば、世界無名戦士之墓を経由して越生神社に出られるが、少し遠まわりになる。

神社からは車道を10分歩くと、越生駅である。

(06年3月25日歩く)

### ● コースタイム

池袋⇨東吾野 30分 地蔵尊 20分 ユガテ 15分 エビガ坂 55分 顔振峠分岐 40分 鼻曲山 1時間20分 桂木観音 30分 大高取山 1時間 越生神社 10分 越生⇨池袋

### ● 費用

池袋⇨東吾野 西武 540円  
越生⇨池袋 東武 700円

### 〔地図〕

越生 (2万5千)  
東京 (20万)